



# 河小だより



四日市市立河原田小学校  
 学校通信 第41号  
 令和6年 1月26日(金)  
 文責 校長 鳥居 純樹

二学期末に保護者の皆さま方には、学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。学校教育活動全般については、概ね評価していただいているように思います。しかし、すべての保護者の皆さまにとって満足できる状況ではなく、改善するべき点はたくさんあります。保護者アンケートだけでなく、子どもたちの学校アンケートの結果を分析して三学期の教育活動を改善することでより充実した教育活動となるように努めていきたいと考えています。



## 保護者アンケート結果分析

質問内容	◎	○	△	×	◎○	△×	◎○ 比較
	数字は%「◎○比較」は令和4年度との比較▲は一						
①学校は「確かな学力をつける」「体力の向上を図る」ために努力していると思いますか。	46.2	51.8	2.0	0.0	98.0	2.0	1.8
②学校は、「思いやりのある子」の育成に努力していると思いますか。	38.5	57.9	3.1	0.5	96.4	3.6	2.6
③学校は、「安全で安心な学校づくり」を進めるために努力していると思いますか。	45.1	49.2	5.1	0.5	94.3	5.6	▲0.3
④学校は「地域と共にある学校づくり」を進めるために努力していると思いますか。	53.3	45.6	1.1	0.0	98.9	1.1	2.0
⑤学校はいじめや差別をなくし、安心して過ごせるよう努力していると思いますか。	46.2	46.7	6.7	0.5	92.9	7.2	2.8
⑥お子さまは、学校に喜んで通い、楽しく生活できていますか。	53.3	40.5	4.6	1.5	93.8	6.1	▲0.7
⑦携帯電話やスマートフォン、タブレットゲームを家の人とルールを決めて使っていますか。 【◎はい○いいえ×持っていない】	84.1	12.3		3.6	96.4	3.6	2.5
⑧お子さんは、読書が好きですか。	20.0	30.8	33.3	15.9	50.8	49.2	▲4.5
⑨本校の教育は全体的に見て満足できる状態にありますか。	39.5	57.9	1.5	1.0	97.4	2.5	1.5

◎◎本校の教育活動に対して 97.4%の方が肯定的に評価していただきました。昨年度よりも肯定的評価された方がふえました。しかし、⑤「学校に喜んで通い、楽しく生活できていますか」の肯定的評価が昨年度との比較で 0.7 ポイント減少しています。子どもたち一人一人を把握して、登校できるよう家庭と連携しての取り組みを強化していきたいと考えています。

◎①「確かな学力」「体力の向上」については、昨年度よりも 1.8 ポイント上昇しました。教職員が授業力向上に取り組み日々の授業を大切に取組んできた成果が表れています。

◎②「思いやりのある子の育成」については、肯定的評価が昨年度よりも 2.6 ポイント上回り、道徳授業での実践や日々の教育活動での仲間づくりが評価されました。しかし今年度もいじめや差別につながる事象も発生しています。子どもたちや保護者からの情報から早めに対応しています。今後も教職員のアンテナを高くして子どもたちの状況を把握していじめや差別で傷つく人がなくなるように取り組んでいきます。児童アンケートでは、「いじめや差別はどんな理由があってもいけないと思う」という質問項目に対して 5.8%が否定的な回答が見られました。相手の立場を自分に置き換えられるよう取り組み、いじめや差別がないよう行動できる子どもたちを育てていきたいと思ひます。

◎④「地域とともにある学校づくり」では、98.9%の高い肯定的評価をいただきました。HP や学校や学年、学級からのたよりで子どもたちの様子を伝えてきたことを高く評価されていると思ひます。今後も子どもたちのがんばりについて取り組み状況とともにお知らせしていきます。

●⑥の項目では、肯定的評価が 93.8%、否定的評価が 6.1%となっています。児童アンケートの結果でも肯定的評価 87.5%、否定的評価 12.5%と否定的な評価が昨年度よりも 0.6 ポイント高くなっています。子どもたちがこのように感じている要因は何か、また日々の悩みやトラブルを解決して帰宅できているかどうか等、子どもたちが「今日も楽しかった」と下校できるように教育活動の充実を目指して取り組んでいきます。⑤の質問項目で学校が子どもたちの安心につながっていないという否定的回答が 7.2%となっています。昨年度よりも減少しているものの、子どもたちにとって学校が安心して登校できる場となるよう取り組んでいきます。

●⑦携帯電話、スマートフォン、タブレットの所有率が昨年度よりも増加しています。「ルールを守って使っていない」という評価が昨年度よりも増えています。基本的には家庭でルールを決めていただき適切な使用できるように話し合っただけければと思ひます。子どもたちが安全に使えるよう、また便利な道具であるがゆえに人を傷つけてしまうこともある危険性などについて学校でも継続して指導していきまひす。

●読書への興味関心が昨年度よりも低くなつていて、活字離れが深刻となっています。図書館まつりや電子図書館の取り組みを通して子どもたちに文字を読む習慣をつけていきたいと思ひます。児童アンケートの結果でも動画などの視聴時間が全体的に多くなつています。スマホなどでの動画時間を短くして少しでも読書にあてられるように学校としても働きかけをしていきたいと考えています。

●保護者アンケートでは、「確かな学力の育成」「体力の向上」については、高い評価をいただきましたが、児童アンケートでは、国語、算数、体育の学習に対する評価（「～は好きだ」「授業の内容はよくわかる」）が昨年度よりも肯定的評価がいずれも下がっています。子どもたちにとって、日々の授業で「分かった」「楽しかった」と言えるような授業づくりをすることで、子どもたちの学習状況を変えていきたいと思ひます。子どもたちの家庭での学習状況では、「全く勉強しない」という割合が昨年度よりも高くなつています。学習内容を定着させるためには、繰り返し学習することが求められています。学校での楽しい授業とともに家庭学習の両輪で子どもたちに学力を定着させ、自信につながればと思ひます。

●児童アンケートでは、「将来の目標や夢がありますか」という問いでは、昨年度よりも肯定的評価している子どもが 4.5 ポイント下がりました。AI など ICT 技術の向上により予測困難な社会になっています。子どもたちが今の時代に自信をもって生きていけるように学年でのつきたい力をつけるとともに、中学校とも連携することで、将来のキャリアに向けての力の育成に取り組んでいきたいと考えています。

●児童アンケートでは、「自分にはよいところがあると思ひますか」という問いでは、24%の子どもたちが否定的な回答をしています。子どもたちのよさを引き出すとともに、子どもたちのよいところやよい行動を学校全体で認め、言葉にして返すことで子どもたちに自尊感情や自己有用感を高めていきたいと思ひます。

**【今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。】**